

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（三ヶ日西小）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校運営の基本方針に沿った取り組みを進めるため、さらに熟議を深めると共に、学校との協働体制を強化していく。
- 今年度立ち上げたボランティア活動を充実させるために、先生方とボランティアとの連携を密にし、要望や参加方法など持続可能な取り組みを推進していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校運営の基本方針に沿った取り組みが適正に行われていた。
- 学校生活や授業参観を通して、またいじめ防止基本方針に基づいて、常に未来の子供たちを育てる意識と温かい人間関係のため日々学校運営がなされていることが伝わってきた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 承認した学校運営の基本方針の中で、下記の通り特に挨拶の充実と家庭学習の意識改革について熟議を進めることができた。
- 挨拶は学校の継続支援で成果が上がっている。そこで、むしろ挨拶をより一層今後自然にしていくには、地域や大人の協力が必要だと結論付けた。よって大人たちの各立場で推進協力できる手立てを今後も模索していく。
- 保護者は、自ら課題を見つけて計画的に取り組める子を育成する必要性を感じていることが分かった。子供を育てる場としての家庭学習支援は、保護者の協力が大切である。そこで、家庭により時間的、経済的、教育的に差がある事実を踏まえながらも、学校は保護者に賛同を得られるよう継続周知していく。
- CSコーディネーターが教育活動ボランティア導入措置や配置を担ったことで、学校への支援体制ができつつある。今後もより一層持続可能な体制を作っていきたい。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- CSだよりとして学校運営協議会の様子を伝え、周知を図った。ホームページには開催通知や議事録を掲載した。ブログによる学校の様子も紹介されていたり、会の熟議の様子も広く周知されていた。これらのことから、協議会での協議結果について、十分な情報発信が行えていたといえる。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 本校がより一層学校運営の基本方針に沿った取り組みを進めていくため、ボランティア活動を深化させていく。主に「ボランティアを采配したり受入等の手立てを負担軽減したりする方法を見出し、持続可能を目指すこと」や「授業内容の充実のため、事前準備や環境整備の活動を立ち上げること」に焦点を当てていく。